

# 宇部銀次・67

## プロへの

# 挑戦

人口わずか3400人足らずの小さな村から

プロ野球選手が誕生した

小学生時代からプロへの夢を持ち、中学、高校と

ひたすら野球に打ち込んできた

彼の名は宇部銀次・17歳（盛岡中央高校3年）

10月3日、高校生を対象にした

プロ野球新人選択会議（ドラフト会議）で

東北楽天ゴールデンイーグルスから指名を受けた

夢がかなった瞬間だった

12月14日の入団発表で登録名は「銀次」、背番号67

晴れて「楽天の銀次」が誕生した

甲子園出場をかけた岩手県大会決勝で

敗れはしたが、夢を捨てず、最後まであきらめない

ひたむきなプレーは子どもたち、そして村民に

大きな感動を与えてくれた

高校通算打率3割7分8厘、24本塁打

恵まれた素質と、それを上回る努力の数字である

野球少年の夢と、村民の期待を背に

厳しいプロの世界に挑む17歳の青春に迫る